

平成6年8月
第22号

札幌東高等学校同窓会会報

ごあいさつ

北海道札幌東高等学校同窓会会長 吉 中 新太郎



大きく揺れ動く政局や未曾有の円高で悲喜こもごも、大いに慌ただしい暑い夏でありましたが、同窓会の皆様にはご健勝でご活躍のことと推察申し上げます。

明治40年創立の母校は今年で87年を数え、この間札幌区立女子職業学校、実科高等女学校、札幌市立高等学校、第一高等学校、そして札幌東高等学校と幾多の変遷を経て、卒業生累計は3万名を超えるに到り、同窓会も同様に道内有数の大きな組織となりました。

そして、この大勢の同窓生が母校で培った知識や経験を基盤として各地各界でご活躍されていることに、母校の歴史と伝統の重さを改めて認

識するところであります。昨年は東校7期卒の丹波実氏（現サウジアラビア大使）より湾岸戦争・ソ連ペレストロイカなど世界の大事件についてご講演を戴きましたが、自らの現場体験に基づく話は圧巻であり、その迫力に全校生がすっかり魅せられた姿は真に印象深いものがあり、このような卒業生を擁している母校の伝統を大変に誇らしく感じられました。

母校では新年度から、阿部前校長先生のあとを受けて玉山校長先生が

ご着任され、新体制のもと、近年の進学校としての評価が益々高められるに加え、昨年の合唱部の全国大会入賞など、文化面・スポーツ面においてもより活発な活動が期待されるところであります。

最後に、会員皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げると共に、今後も、この躍進を続ける名門校に相応しい同窓会でありたいと存じますので、会員皆様の暖かいご支援をお願いする次第であります。

御挨拶

札幌東高等学校長 玉山治義



誠意努力いたしますので、前任者同様の御支援、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

この春で御勇退されました阿部校長の後任として、岩見沢東高等学校から4月1日付で着任いたしました。87年に及ぶ歴史と伝統を誇る学校として、自他ともに評価の高い、しかも優秀な生徒の教育に携わることができるなどを大変幸せに思つております。

一方、これまで當々として築き上げられてきた、よき伝統・校風の継承と、一層の発展・充実を期すべき責務の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

改めて、本校に寄せられる市民の大きな期待や、父母・同窓生の皆様の厚い信頼に応える学校づくりを推進して参りたいと決意し、鋭意取り組んでいるところであります。元より、浅学非才ではありますが、誠心

さて、今、高校教育におきましては、新しい世紀を目前にして、社会の変化に主体的に対応し、心豊かで逞しく生き抜くことのできる人間の育成を課題としております。このことは、画一的で知識集積に片寄った教育を反省し、個性を伸ばし、自ら問題・課題解決に努力できる自己教育力の育成と、物質的に豊かな社会環境のもとで育つたことに起因する「心の貧しさ」を克服をしようとするものであります。

一般に、未来への夢や目的意識の希薄化、耐性・意欲・逞しさの不足、他人への思いやり、物を大切にする配慮、感謝・奉仕の精神、公共心の希薄さ等々、心の貧しさのみならず学力の低下をも指摘されており、心を育てることへの学校教育依存度も大であります。

本校におきましても、このような

風潮は同様に見られるところではあります。幸いにも基本的生活習慣が身についており、節度ある行動と目的意識に支えられての生活が、評価を高めているところであります。

これも偏に、先輩諸兄姉が残された良風と、開校以来の「克己自彊」の精神を体して、困難を乗り越える弛まぬ努力や進取の気概をもつて、各

界に創造性を發揮されて活躍している姿が、在校生への生き方の模範となつていているからであります。生徒は、多少逞しさに欠けるものの、先輩を中心とする3校の22名が来校して交流を深めるなど、今後益々国際親善や交流の機会が盛んになると思います。このような交流を通じて、

本校生が世界で活躍する基礎を培っている訳であります。そのため、今後の国際化の上で国際交流基金作りも急務となつていています。

この他、数年後に90周年という大きな節目を迎える本校が、同窓生の皆様のお力添えをいたしたいて、一層の飛躍の機会といたたく思います。

最後に、同窓生皆様の益々の御健勝と同窓会の御隆盛を心から御祈念申し上げて、御挨拶といたします。



国からの受け入れと本校からの留学生の交換が行われております。本年も、5月中旬にアメリカのユタ州のブリガムヤング大学体操部が来訪し、本校体操部と合同練習後、指導を受ける機会に恵まれました。7月13日～16日には、レイク・ワシントン高校を中心とする3校の22名が来校して交流を深めるなど、今後益々国際親善や交流の機会が盛んになると思います。このような交流を通じて、本校生が世界で活躍する基礎を培つて、日々努力しているところでもあります。この学習への努力こそ、忍耐力や集中力を培う機会であるとともに、困難を乗り越えるための意欲や力の源泉となると信じております。

また、文武両道の奨励は本校教育の不易とするところであり、部活動に励み、協力して汗する活動を通して、広い心と逞しさを培う機会としております。やがて巣立つた暁には、諸先輩に伍して、あるいは後継者として活躍できる人間となるよう、教職員が心を一つに努めて参ります。

このような中で、近年、本校におきましても国際化の進展があり、諸外

昨年の同窓会を振り返つて

東高24期卒 須貝武美



はじめて同窓会に出席したのは、平成3年の第82回同窓会でした。

この時「2年後は、24期が幹事にあたるので、一度出たほうがいいよ」と言われ出席したものでした。

これまで同窓会というものがどの様なものかどのくらいの人が出席しているのか全く知らず、出席して初めてこんなに盛大なのかと驚いたことを覚えていました。

それから、1年数カ月後、10期の先輩、43期の後輩と一緒に幹事として同窓会のお手伝いをすることになりました。うまくいくだろうかと不安に感じたものでした。

「93ぶりかえれば青春そして……」

このテーマのもと同窓会に出席くだ

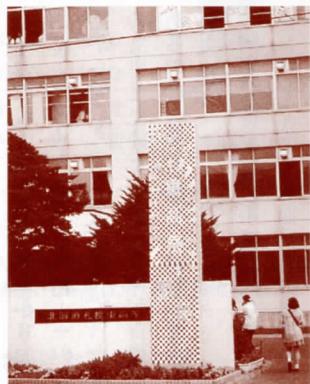
さる皆さんの中に少しでも思い出として残るようなものにしようと多くの同窓の方のお力を借りしながら、会券の販売、広告集めなど幹事が一生懸命に取り組みました。

準備を進める中で、これまで話をしたこともない先輩あるいは卒業後はじめて会う同期がお互いに遠慮することもなく自由に意見を言い、積極的に準備に取り組む姿を見ていると、これが同窓会なんだ、東高の仲間なんだと感じました。

之君が三日連続のお手伝いを筆頭に同期生のお手伝いもあり、恒例のジユース配布を致しました。今年も同窓会室にはたくさんの方がお見えになりました。

玉山校長を始め恩師松尾先生が二十六年ぶりに訪れ、又東五期卒の大工学部教授の竹澤暢恒ご夫妻も訪問されました。

母校担当
高女24期 副会長 秦 泰子
東高9期 副幹事長陣内 幸則
東高19期 // 中村 紀子



第四十五回 東高祭

テーマ「熱風」

晴天に恵まれた学校祭が七月十五日（金）より十七日（日）まで開催し、十七日（日）が一般公開されました。今年のテーマ「熱風」のよう

例年同窓会室の卓上のお花を持参して戴いております小林副会長に感謝申しあげます。

会場準備のお手伝いに高女の塙野次子様、徳永礼子様、今宮節子様ありがとうございました。

一人でも多くの同窓生が学祭を見て戴く事がどんなに在校生の励みになるか今一度考えて戴けたら幸せです。

是非参加して下さい。

東京支部だより

今年の夏は、一昨年とは打つて変つて記録的な猛暑となり、お米に携わる人にとっては、冷害に頭を悩ます事もなかつたかもしませんが、一方、雨の少ない夏となり地域によつては、水不足による人々の生活全般に影響を与えるという自然の大きいなるエネルギーに身をまかせ耐える他ないといふ事を痛感させられました。

「あさて」恒例の第一六回札幌市立高女・札幌東高、東京支部同窓会は、平成五年十一月十四日（毎年十一月第二日曜日）ニューヨークで盛大に開催されました。今回の当番幹事は、高女二期、東高二期が持ち回

り、郷里札幌からは、阿部現校長と恩師河崎先生（化学）と岩井先生（世界史）を、東京周辺在住の恩師（宮田先生・紺野先生）をお迎えしての総勢一六〇名余りの参加者を得まして盛会に終わり、無事大役を務め今後代々後輩へと引き継がれて行く事と思います。特筆すべきは、阿部校長が我が母校の合唱部の後輩達がNHK音楽コンクールに参加したテープを持参して同窓会に御出席してくださつた事でしよう。

同窓会は、半田新幹事長の開会の辞で幕開け、工藤支部長の挨拶、戸田副支部長の乾杯の音頭で懇親会が開かれ、飲食と歓談に花が咲きました。恩師の先生方との再会は、何十年ぶりの人もあつたかと思いますが、先生方

の先生と生徒との良き関係が背景にあるのだなあと、懐しい感じが甦つてきました。

同窓会は、次第に佳境に入りアトラクションでは、当番期に元合唱部の部員が数名いたせいか、現役に負けじと往年の名歌「上を向いて歩こう」「学生時代」をリードし、やがて会場は校歌の大合唱となり、大いに盛り上がりを見せました。また先輩諸氏の努力により多くの景品が参加者に当たり、その中で特にヨーロッパ旅行の発表時には、ビンゴ司会の進行役のキャラクターの演出効果もあつてか会場は最高の盛り上がりを見せました。

当番期として初めて顔を合わせた同窓生の面々は、二次会においては昔の生徒に戻つたような懐かしさで会話が弾み、時が経つのを忘れてしました。この様な同窓会を開催できたのも当番期の有志の仲間の助力と常任幹事の方々の協力及び各期の先輩諸氏の皆様方の協力がなかつたら、伝統ある同窓会が代々続いて来なかつただろうなあと、感慨深く振り返り感謝の念をもつて報告致します。

東高20期 岸岡 明



同窓会事務局から（変更部分）

◎郵便振替口座（平成五年変更）

一、口座名 札幌東高等学校同窓会
003 札幌市白石区菊水九条三丁目
札幌東高等学校内

代表者 吉中新太郎

二、口座番号

○二七〇〇一一一一〇〇八〇

三、取扱い局

菊水三条郵便局

（電話八一一一八九八五）

◎校長・教頭職異動（六年四月）

転入 校長 阿部 破先生

転出 教頭 松本 光先生

転入 校長 玉山治義先生

教頭 藤田満弘先生

◎事務局職員異動（六年四月）

転出 五味世津子先生（穂別高）
(恵庭南高より)

小林勝則先生
東高27期

担当国語

（恵庭南高より）



林 正憲先生
東高31期
担当社会
(常呂校より)



東高同窓会ゴルフ大会



恒例の七月第三木曜日同窓会ゴルフ大会がタカオ滝野コースにて五十名の参加を得て開催されました。

高女二名を含め女性四名初参加一名お久し振りの東三期の近藤様、山中様飯田女史の参加もありました。連日の猛暑の中、当日も三十一度と言う暑さの中、その暑さと戦いながら元気にスタートして行きました。

又、初参加の六期の石山勝人様十九期の三上真司様の健闘が光りました。

現在会員一七六名です。

来年は同期四名にて組合わせしますので同期会コンペも参加戴きます

ようご利用下さい。成績は次の通りです。

団体賞 (上位四名のネットスコア) (BG布村俊雄 東22期G77)

優勝 東六期 N二八七
準優勝 東十九期 N二九三

1位 東八期 N三〇一 (次点)
1位 東十五期 N三〇一 (次点)

◎ゴルフ部幹事

部長 氏家 保嗣 (東1)
副会長 大黒 正芳 (8)

幹事 陣内 幸則 (9)
三浦 紀秀 (9)

得能 勝 (13)
中島 重勝 (13)

藤枝 清規 (14)
北村 博文 (17)

皆川 博文 (17)
鈴木 敬久 (22)
北村 優明 (19)

(BG秦 敬 東5期G84)

◎シニアの部

優勝 児島 護 8期 H
準優勝 中橋利雄 6期 G
1位 桜田弓子 6期 N

2位 伊藤秀行 6期 H
3位 吉川昌利 2期 G
3位 (BG秦 敬 東5期G84)

◎ミドルの部

優勝 田中憲三 15期 H
準優勝 堀尾壯六 12期 G
1位 石山勝人 6期 H
2位 中静勝彦 12期 G

3位 米谷 実 8期 G
(BG田中憲三 東15期G82)

◎ジュニアの部

3位	優勝	田中秀明	22期
2位	優勝	皆川博文	19期
1位	優勝	三上真司	17期

準優勝 盛田昌宏旧職員

3位	優勝	布村俊雄	22期
2位	優勝	田中秀明	19期
1位	優勝	三上真司	17期



同窓会事務局から

◎同期会に助成金

をさらにひろげる同期会への助成金制度です。どどどご利用ください。
はじめの同期会開催には三万円
次回以降の同期会開催には一萬円
△申し込みはハガキで事務局へ。
期名・代表者名(フリガナつき)
と電話番号・振込銀行と口座番号
・開催日時と会場を記入の上お申込ください。銀行振込制です。

○住所などの変更はハガキで
住所・電話・勤務先などを変更され
た会員は事務局又はメンテナンスの会社へハガキでお知らせ下さい。

○年会費について
年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

○会員各位の特段のご協力をお願
いいたします。
年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

○送金振込先(変更・四頁参照)

○同好会に参加を
ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふるつて参加しませんか。今年はゴルフの同好会が開かれました。ほか企画やこの希望をお寄せください。

○会報の送付を希望される方や、同好会その他ご意見などご遠慮なく事務局までお寄せください。

札幌東高同窓会事務局
003 札幌市白石区菊水9条3丁目
(札幌東高校内)

事務局担当
梅村・藤原・飯田
古江・阿部・木村・林田
011-831-63332

函館支部だより



支部だよりの原稿依頼がまいりました時、折しも、米スペースシャトル「コロンビア」に、日本人女性初の宇宙飛行士、向井千秋さんが搭乗し、日本及び世界中の人々がテレビ画像に写し出される宇宙船の様子に注目していました。ナポリでのサミット出席の河野副総理と、国際衛星回線を結んでの対談で、向井さんは宇宙から見る地球の美しさを絶賛し、そして「ふるさとを離れて初めて、ふるさとの素晴らしさを知るのと同じです」とメッセージを送つてきました。この言葉を聞いた時私は心中でうなずいていました。

東高建替え新築の時は、東高9期佐藤清一さんが母校に出向き、新旧校舎から歴代の卒業アルバムを、スライドに納めてきて下さいました。その年の湯川での同窓会は、大変盛り上がり上ったのは言うまでもありません。壁に大きく映し出された思い出の校舎、そして友達の顔、先生の顔を見付けて喚声を上げ、学校祭で仮装しお化粧した姿に、説明を入れる人、全員が高校生に返ったのを思い出します。

東高13期 田村 紀子

函館に来て何年か後、初めて東高

函館支部へのお誘いを受け、支部の存在に驚きつつ出席させて戴いたのがもう二十余年前のことです。まず目を見張つたのは諸先輩の方々の芸達者なことでした。何人かの三味線に合わせての踊り、それは素晴らしい、また謡曲とお仕舞も何人かの方が舞われ、まるで邦楽の発表会でも出席させて戴いたのでは、と錯覚する程、それは楽しいものでした。

少しして男性の方も入られ、やつと私の時代の東高に近づいたと、内心喜んだものです。

島」の校舎から、木の香りも新しい「菊水」の校舎に移転し、29年3月に巣立つて、早や40年の歳月が過ぎ去り、還暦を目前にした今、その歩みを寸時止めて自分の辿つた道を振り返る時、多感であつた3年間が無性に恋しく、懐かしい友と青春時代の忘れぬ思い出を語りながら、明日への活力になることを願い、より多くの友の出席をと幹事一同、思いを巡らせました。案内状は40年の思いを封書にしたため、クラス毎の名簿

卒業40周年記念同期会を開催して 東高4期 唯 博幸



も同封し、返信ハガキの半分をメツセージ欄にさいた結果、多くの友から近況報告が届きました。

—昭和29年にタイムスリップ、校庭での写真を懐かしく見ていてます。—

昭和28年初秋、2年半学んだ「中島」の校舎から、木の香りも新しい「菊水」の校舎に移転し、29年3月に巣立つて、早や40年の歳月が過ぎ去り、還暦を目前にした今、その歩みを寸時止めて自分の辿つた道を振り返る時、多感であつた3年間が無性に恋しく、懐かしい友と青春時代の

さんによろしく—

いずれも熱い気持ちのこもつたうれしいメッセージでした。これらを印刷し、住所名簿とあわせて当日出席者に渡し大変に喜ばれました。

本年4月9日、会場のホテルアカシヤには、50名の友が道内外各地から参集、久し振りに会う友は40年の年輪をしのばせながらも懐かしい多感な18歳の顔でした。恩師、松尾・遠藤忠、前田3先生にご出席をいただき全員心から感謝いたしております。

最初はクラス毎のスタートでしたが、直ちに入り乱れて当時の思い出と40年間の語らい。当然2時間では語り尽くせず、二次会へはバスをしたて修学旅行気分ではしやぎながら移動。カラオケ、昔話にさらに花を咲かせ、来年は、還暦記念同期会を盛大に開催すべく、一人が一人を誘い合つての再会を約束し、名残尽きない樂しく愉快な記念同期会を解散しました。

東高在職時の想い出

皆田 敏之



高」という以外にはなく、又、中庭の芝生は絶品でしたね。

一退職され、大方の予想に反し「賢くなることを教える世界から、自らの愚かさを悟ることを説く世界」を選択され、戸惑いなどは……?

●これまでとは違つて、己の愚かさを悟ることを説く仏法の道なのですから「法(のり)」を説くことばに、まちがいは許されません。人の手も握れば拳骨、あわせば合掌となることを念頭に、四六時中氣を緩めることは出来ません。緊張の連続です。

私が教員になりたての時、茂木元治校長は「一時間の授業には、少くても八時間の教材研究が必要だ、手抜きをすると、生徒から相手にされない教師になる」と教えられました。

この教訓は、視点を変えると今の仕事を世に送つてゐる有難い言葉だと思つています。

一 東高校に赴任なさつた時の印象などをお聞かせて下さい。

● 私が(昭和四十七年四月小樽潮陵高校から)参りました時は、木造二階建ての古びた校舎でしたが、隅々まで清掃のいきどいていることに驚き、校門前の通りは砂利道で、車の行きかうたびに砂煙りが舞い、廊下は砂塵で白くなるのに二度びっくり、三年六組の北側窓下に養豚場があり、異臭に悩まされての授業に又びつくりでした

が、生徒の資質の良さには「さすが東

丹波 実氏（東高7期）

母校にて講演

保 ②現経済水準の維持と次代への引継ぎ ③世界の期待に応え、世界に尊敬される日本、の三点だ。私は、

日本外交の重要な案件として日米関係の重要性を言い続けている。現在のアメリカは、経済不況等に苦しんでいるが、昔も今も常に世界に頼られ、世界を受け入れ、安心させ、リードしている国だ。日米の良好な関係無くして、前三点の目標達成はありえない。だが、従前のいわゆる対米追隨外交は、不健全であるのみならず、日米相双がうんざりしているため危険である。今後は、国際問題に対しても日本本が解決策を提案し、一致点を探る方向でなければならない。

日本の消極的外交は、國のあり方、生き方に発するものだが、現状では世界の中の孤立を招きかねない。孤立がナショナリズムを生み、世界への反発となることを危惧する。

(講演概要) 二度の大戦と東西冷戦の終結、ソ連の解体に伴う国家の急増等は、諸種の国際問題を生じてゐるが、解決は、日本を含む先進国の重大な責任だ。この前提から日本外交目標は、①日本の安全の確

保 ②現経済水準の維持と次代への引継ぎ ③世界の期待に応え、世界に尊敬される日本、の三点だ。私は、

外務省条約局長の丹波実氏が、平成5年9月4日、母校において「日本を取り巻く国際情勢—その中で日本はどう生くべきか—」の演題で講演を行つた。

丹波氏は、札幌東高卒業後、東京大学法学部を経て、外務省に入省、以来、国内外において常に日本外交の第一線にあり、外交経験と国際社会の知見は豊富である。21世紀の日本を担う東高生が、正しい世界観に基づく日本の国際化への認識を養うための文化講演会に、最良の講師と言えよう。

講演は、同窓生や父母をも聴衆に、「今や世界第二の経済大国となつた日本が、世界をリードすべき地位と責任にあることを自覚しているか」を要点として、二時間に及んだ。

(講演概要) 二度の大戦と東西冷戦の終結、ソ連の解体に伴う国家の急増等は、諸種の国際問題を生じてゐるが、解決は、日本を含む先進国の重大な責任だ。この前提から日本外交目標は、①日本の安全の確

平成五年度 東高同窓会会務報告

事業計画（案）

II名簿メンテナンスを ご利用下さい

オプションサービスはすでに開始され、七月のゴルフ大会や役員会にも利用されています。クラス会や同期会の事務手続きが軽減されますので、大いにご利用下さい。

尚、住所等の変更は、名簿はさみこみハガキ又は官製ハガキでその都度ご連絡下さい。

○新年常任幹事会

平成6年1月18日 中村屋旅館／

母校支援（合唱部全国大会出場経費の一部150万円を、特別会計から負担すること）承認

○同窓会ゴルフ大会（第12回）

平成5年7月15日 滝野CC参加者62名

○母校学校祭（第44回東高祭）

平成5年7月16日～18日 17・18

兩日同窓会ルーム開設、アルバ

ム・パネルを展示し、在校生にジユースサービス（新卒幹事・役員16名参加）

○第83回同窓会総会

平成5年8月20日 サツボロルネ

ツサンスホテル／当番期…東高10期・24期・43期

○同期会・同好会助成

同期会・ゴルフ部会に助成

○執行委員会開催状況

平成5年8月20日 サツボロルネ

ツサンスホテル（総会関係他討議）

○新幹事研修会・歓迎会

平成6年5月25日（水） 恵愛ビル

母校／同日夕刻から卒業祝賀会

○卒業式

平成6年3月1日（火） 母校／5

06名入会

平成6年2月28日（月） 母校／5

06名入会式・新幹事セミナー

一、定期総会及び幹事会・常任幹事会を開催します。

二、支部・同期会・同好会に対する助成を行ないます。

三、母校に対し、学校祭協賛事業と体育・文化活動その他の助成を行ないます。また、新入会員の同窓会入会式・新幹事セミナーを開催します。

四、会員名簿のメンテナンスと改訂名簿の発行準備をすすめます。

また、幹事名簿の整備に継続して取り組みます。

五、会費制度の検討作業を進めるなど、同窓会の財務強化を計ります。

六、「東高同窓会報」No.22を発行します。

●オプション申込先
岩橋印刷(株)営業部第一課
電話 六六一一五一
ファックス六六一一〇一二二

会員名簿の 購入について

昭和63年11月に発行した会員名簿（定価四、五〇〇円）が、まだ相当数残があります。

一冊一、五〇〇円で購入下さいま
すようご案内いたします。

申込みは、代金を添えて同窓会事務局へ

○総会報告会・引継会

平成5年12月7日 恵愛ビル／新

旧当番期及び役員（会長・副会長・幹事長）

長・幹事長)

秦・岩城副会長

メンテナンス・オプション料金表

種類	内容	作業料金
各種リスト 出力	◇コンピュータ・フォーム用紙に氏名、住所等を出力する。	基本料（1,000円） + 作業単価（2円／人）
宛名出力 (印字)	◇郵送用宛名シールの出力（印字）を行う。 ・総会、クラス会の発送用等	基本料（1,000円） + 作業単価（5円／人）
各種発送代行	◇各種印刷物等の封筒詰めから発送までの全業務を代行する。	基本料（1,000円） + 作業単価（30円／人）

※利用は会員に限ります

■会計報告

平成5年度決算書並びに平成6年度予算(案)

☆一般会計

平成5年度決算書

平成5年7月1日から
平成6年6月30日まで

(収入の部)

科 目	予算額 円	収入決算額 円	摘要
前 年 度 繰 越 金	656,832	656,832	
入 会 金	1,100,000	1,012,000	506名×2,000円
年 会 費	700,000	657,500	1,315名×500円
雑 収 入	700,000	872,363	預金利息、剩余金
計	3,156,832	3,198,695	

(支出の部)

科 目	予算額 円	支出決算額 円	摘要
事 務 手 当	200,000	200,000	事務局諸経費、交通費
事 務 用 品 費	50,000	22,000	用紙代他
印 刷 費	150,000	140,300	諸印刷代、名簿保守料
通 信 費	100,000	98,047	郵送料
慶弔 費	100,000	74,160	餞別他
会 議 費	380,000	286,351	幹事会他諸会議
総会 関係 費	380,000	300,000	準備金
会報 発行 費	140,000	139,944	会報印刷代
学校祭 関係 費	150,000	133,478	学校祭参加諸費
同期会等助成金	250,000	153,718	同期会、同好会等助成
新会員 関係 費	380,000	316,752	記念品代、新会員セミナー
体育文化助成金	150,000	150,000	在校生助成
特別会計積立金	600,000	600,000	積立金繰入
雑 費	40,000	30,206	
予 備 費	86,832	0	
計	3,156,832	2,644,956	

収入額 3,198,695円 - 支出額 2,644,956円 = 残額 553,739円
(札幌銀行菊水支店 普通預金No.250100 全額預入)

☆特別会計積立金

(収入の部)

前 年 度 繰 越 金	3,193,705円
一般会計繰入金	600,000円
収 益 配 当 金	94,797円
合 計	3,888,502円

(支出の部)

次期繰越金	3,888,502円
合 計	3,888,502円

* 繰越残高内訳

①安田信託銀行札幌支店 貸付信託 (No.090163412)	1,200,000円
金銭信託 (No.090163401)	671,495円
小 計	1,871,495円
②三井信託銀行札幌支店 貸付信託 (No.823547201601)	1,200,000円
金銭信託 (No.8235472016)	217,007円
小 計	1,417,007円
③札幌銀行菊水支店 スーパー定期 (No.250100.0.001)	600,000円

監査報告書

平成5年度の会計運営につき、月次同窓会会計経理状況表・支出(収入)決議書・証憑書類及び各帳簿・通帳につき監査を行いました。監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、公平妥当なものと認められました。

よって、当監査役は上記決算書が平成6年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成6年7月5日

監査役

中村瞳三四 印

監査役

助貞瑛一 印

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条** 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話831-6332)
- 第2条** 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条** 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条** 本会に名誉役員をおく

- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
- (2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
- (3) 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- (4) 相談役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者

- 第5条** 本会に次の役員をおく。

- (1) 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (2) 副会長 5名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (3) 幹事長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (4) 副幹事長 10名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (5) 常任幹事 若干名 正会員中より各期幹事の推薦に基づき会長が委嘱する。
- (6) 幹 事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は、各期正会員の互選により各期若干名を選出し、その中から正副代表幹事を選出する。

- (7) 監査役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。

- 第6条** 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。

- 第7条** 役員の任期は次のとおりとする。

- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する。
- (2) 副会長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
- (3) 幹事長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
- (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
- (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
- (6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
- (7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。

- 第8条** 本会は次の機関をおく。

- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
- (2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
- (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
- (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条** 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 総会の開催
- (2) 会誌の発行
- (3) 母校発展のための事業
- (4) 本会の組織強化のための事業
- (5) その他執行委員会で必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条** 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剩余金をもってこれにあてる。

- (1) 入会金は、2,000円とする。
- (2) 年会費は、1ヶ年500円とする。

- 第11条** 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

- 第12条** 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条** 会員は住所、姓名等一身上の異動があつたとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

- 第14条** 会則の変更是、総会において出席者の三分の二以上の承認を得なければならない。

- 第15条** 会計業務は、母校事務局で行う。

- 第16条** 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

一部改正～昭和49年8月23日

- 昭和50年8月25日
- 昭和51年8月25日
- 昭和52年7月17日
- 昭和56年8月22日
- 昭和62年8月21日

北海道札幌東高等学校 同窓会役員名簿 (任期 = 平成5年7月~平成8年6月) 平成6年8月現在

役 職	氏 名	卒業期	現 住 所	自宅電話	勤 務 先	電 話
顧問	芦野 トシ	職業 9				
"	松尾 静江	高女22				
相談役	石田 アイ	高女 2				
"	小野寺チズ	高女16				
"	五十嵐恒夫	東高 1				
会長	吉中新太郎	東高 1				
副会長(母校)	秦 泰子	高女24				
" (広報)	小林 幸子	第一高1				
" (総会)	田中 麗子	東高 2				
" (総会)	大黒 正芳	東高 8				
" (総務)	岩城 弘侑	東高11				
幹事長	小山 國夫	東高12				
副幹事長(組織)	高木 美子	東高 3				
" (総会)	高木 綏子	東高 4				
" (母校)	陣内 幸則	東高 9				
" (広報)	高橋 正	東高10				
" (会計)	藤枝 靖規	東高14				
" (会計)	本間 公康	東高15				
" (総会)	皆川 博文	東高17				
" (母校)	中村 紀子	東高19				
" (組織)	山崎 博	東高22				
" (組織)	村山 忠司	東高26				
監査役	中村瞳三四	高女21				
"	助貞 英一	東高13				
常任幹事	長尾 貞子	高女 4				
"	菅原 三枝	高女15				
"	佐野 セツ	高女18				
"	坂東 信子	高女22				
"	石井二二子	高女25				
"	塙野 次子	第一高1				
"	横田佐和子	第一高2				
"	氏家 保嗣	東高 1				
"	長谷川 修	東高 2				
"	久末 祐輔	東高 5				
"	鈴木 敬夫	東高 7				
"	遠藤 安倫	東高 8				
"	三浦 紀秀	東高 9				
"	山本 茂	東高10				
"	佐々木信義	東高12				
"	林 豊	東高14				
"	西谷 洋利	東高15				
"	伊東 康博	東高16				
"	北村 優明	東高19				
"	白鳥 英一	東高20				
"	富樫 勝	東高31				



同窓生に
とつて現在
の東高の様
子を知る機
会に中々恵
まれません。

しの東高だよりから抜粹して、母校

の模様をご紹
介します。

そこでこと

た。

た。